



教職員の皆様へ

©上尾市

夢を育み 未来を創る 上尾の教育

上尾市について

みんなでつくる みんなが輝くまち あげお

上尾市は、東京から35km、電車で約1時間の距離にあり、埼玉県南東部に位置しています。面積は、45.51平方キロメートルあり、令和5年に市制施行65周年を迎え、人口は約23万人です。上尾市では、「みんなでつくる みんなが輝くまち あげお」を将来都市像と定め、新たな時代に向けたまちづくりに取り組んでいます。また、市内には、22の小学校と11の中学校があり、「夢を育み 未来を創る 上尾の教育」を基本理念に、児童生徒の夢を育み、様々な体験を通して笑顔と感動を送ることができるような教育に取り組んでいます。



特色ある教育



©上尾市

グローバル化に対応する教育

小中一貫教育

グローバル化に対応する教育を推進するために、「全小中学校へのALTの配置」「オーストラリアへの中学生派遣」「イングリッシュサロン・イングリッシュパーティーの開催」「小中9年間を通じた英語授業」「海外の方とのオンライン交流」「SDGsや多文化共生に関する取組」などを実施しています。

小中一貫教育では、市内2つの中学校区（原市中学校区・南中学校区）でモデル事業を実施しています。また、各中学校区において、研修用動画を活用し、教職員の理解を深めるとともに、合同研修会を実施しております。そして、各中学校区で目指す児童生徒像を設定し、小中一貫教育グランドデザインを作成し、小中一貫教育を推進しております。

ICT活用



©上尾市

あげお学びのイノベーション

市内各小・中学校に、学校ICT支援員を配置し、ICT端末を活用した個別最適な学びと協働的な学びの推進を図っています。また、児童生徒が自律的にデジタル社会と関わっていけるための指導を行うとともに、ICTを安全に活用できることを前提とした利用環境を整備するなどのデジタル・シティズンシップ教育を推進しています。また、すべての学校で、ICT端末の持ち帰りを行っています。

① 児童生徒の活用

Chromebookを使用し、学習eポータル、授業支援クラウド、AI型ドリル、生成AI、デジタル地球儀などを活用しながら、学習を深めています。

② 教職員の活用

授業で活用するICT以外にも、校務支援システム(C4th)などを整備しており、教職員の服務等が適切に管理できるようになっています。

働き方改革



©上尾市

働き方改革の推進

市内各小・中学校では、4つの視点（①教職員の負担軽減のための条件整備 ②教職員の専門性を踏まえた総業務量の削減 ③教職員の健康を意識した働き方の推進 ④保護者や地域の理解と連携の促進）から働き方改革を推進しています。具体的には、「教育課程のスリム化」「各種取組の簡略化」「学校支援員アップスマイルサポーター(ASS)及び教育業務支援員スクール・サポート・スタッフ(SSS)の配置」などを通して、教職員の負担軽減を図っております。また、「勤務状況の把握」「休暇等を取得しやすい環境づくり」「教職員のサポート体制の強化」を通して、「働きやすい」「働きがいがある」職場環境を確立しながら教職員のウェルビーイングを高めています。そして、これらの取組を通して、時間外在校等時間を「月45時間以内、年360時間以内の教員数を令和9年度末までに100%」にすべく実施しています。

地域連携・生徒指導



©上尾市

地域と一体となった教育・いじめの防止、不登校児童生徒数の減少

地域と一体となった教育を推進するために、学校運営協議会委員のための研修を行い、「コミュニティ・スクール」の更なる発展を目指すとともに、新たに中学校区での学校運営協議会の開催を計画しています。また、地域人材を活用した部活動指導体制の強化を通して、「休日の部活動地域移行」を計画的に進めています。

いじめ防止を図るために、毎年、「上尾市いじめ防止子供サミット」や「夢を育み未来を創る子供すこやかシンポジウム」を開催し、児童生徒が主体的にいじめ防止の取組を考える機会を設けています。また、不登校児童生徒数を減少させるために、児童生徒にとって安心できる場所づくりを実施しています。具体的には、校内教育支援ルームを設置し、先生を配置して児童生徒の支援にあたっています。